

2008年8月14日

ブルネイにおける大規模太陽光発電の共同実証プロジェクト

三菱商事は、ブルネイにて大規模太陽光発電の共同実証プロジェクトを実施するため、総理府エネルギー局と覚書(MOU)を締結しました。

本実証プロジェクトは、ブルネイのベライト地区セリアに東南アジア地域で最大となる定格出力1.2MWの太陽光発電設備を設置し、運転開始から3年間にわたり、総理府エネルギー局および電力局と共同で実証研究・運用評価を行うものです。大規模太陽光発電の設置はブルネイで初めての取り組みです。

ブルネイは再生エネルギーを導入してエネルギー供給の多様化を図ることを目指しており、なかでも太陽光発電を最も有望視しています。

ブルネイにおける国際貢献活動の一貫としてブルネイでの太陽光発電の普及促進に協力するため、当社は本実証プロジェクトにかかる資金を拠出し、また太陽光発電に関する技術移転および人材育成への協力を行います。本プロジェクト実施を通じて得られるデータやノウハウは、ブルネイにおける将来の太陽光発電の普及・実用化に資するものと思われます。

以上

<共同実証プロジェクトの概要>

プロジェクト名: Tenaga Suria Brunei (英語で Brunei Solar Power の意味)

設置設備の概要:

- ① 定格出力: 1.2MW
- ② 太陽光モジュール: 結晶系・薄膜系等、異なる複数タイプの太陽光モジュールを設置
- ③ 設置場所: ブルネイ・ダルサラーム国セリア セリア発電所
- ④ 付帯設備: 太陽光発電に関する PR・教育用設備

実証内容:

- ① 大規模太陽光発電設備(1.2MW)の設計・設置
- ② 太陽光発電を利用した実証・評価
 - ✓ ブルネイの気象条件下における複数の太陽電池モジュールの特性比較
 - ✓ 大規模太陽光発電設備の系統連係の実証
- ③ 太陽光発電設備の運転保守の指導
- ④ 太陽光発電分野における人材育成
- ⑤ 太陽光発電・再生可能エネルギーに関するセミナー開催

スケジュール(予定):

2008年8月 詳細設計作業開始
2010年～ 太陽光発電設備の運転・実証・評価の実施(3年間)

(参考)

ベライト地区セリアの位置

